



## 国際連合広報センター

## UNITED NATIONS INFORMATION CENTRE

(広報資料)

プレスリリース 09-052-J

2009年10月14日

## 国際防災の日(10月14日)に寄せる

### 潘基文(パン・ギムン)国連事務総長メッセージ

医療・保健施設はその実質的な重要性にも増して、公共の福祉の象徴として特別な価値をもっています。災害に負けない医療施設をつくることは不可欠です。そのために、国連国際防災戦略事務局 (UNISDR) は世界保健機関、世界銀行とともに、「災害に負けない医療施設」をテーマに世界防災キャンペーン 2008-2009 を実施し、今年の「国際防災の日」を迎えるにあたり、この課題に焦点を当てています。

災害時には、医療施設は最も重要なインフラ設備となります。これらの施設はまさに文字通り、コミュニティの生命線として機能します。医療施設が深刻な被害を受ければ、救命活動が著しく妨げられます。気象に関連する災害が増加する中で、日頃から医療施設が緊急事態に備え、災害発生時には速やかに人命救助を行えるよう確保しておくことは極めて重要です。とりわけ、脆弱な医療制度により、平常時の人々の健康上のニーズにも対応できていない国々にとっては特にそうです。ブルキナファソでは、洪水のため、首都の主要な病院から患者を避難させなければなりません。インドネシアでは、スマトラ島沖地震の際に病院が倒壊したために、更なる人命の損失をもたらしました。また、イタリアのラクイラでの地震により新築の病院が倒壊したことは、豊かな国における医療制度でさえもが危険にさらされているという、恐ろしい事実を我々に思い起こさせました。

「災害に負けない医療施設」キャンペーンは、より安全な医療施設をつくるための実践的な取り組み推進を含みます。例えば、「医療施設安全指標」という医療施設の災害への備えを評価するためのチェックリストが、中南米諸国をはじめオマーン、スーダン、タジキスタンなど多くの医療施設において適用されています。

各国政府、そして都市計画者を含むすべての政策決定者に対し、医療施設の安全性を見直すよう、呼びかけます。医療施設は、地域の災害に対応するための備えを更に向上させなければなりません。災害発生時に医療従事者や患者をよりよく保護できるように設計、建設、維持されなければなりません。災害に負けない医療施設をつくるための費用は、比較的小額で済みます。倒壊してしまう医療施設こそが最も高くつくのです。

\* \* \* \* \*